

2020年2月13日 スペースたんぽぽ 講座番号 606 新ちよぼゼミシリーズ「オルタナティブな日本を目指して」(ちよぼちよぼ市民によるちよぼちよぼ市民のためのゼミナール) 第40回

日本の司法制度と裁判官： 何故おかしな判決が相次ぐのか

講師：澤藤統一郎（さわふじ とういちろう）弁護士

1971年東京弁護士会に登録。靖国神社問題関連訴訟、自衛隊海外派遣違憲訴訟（湾岸戦争戦費支出差止請求事件）、東京日の丸君が代強制違憲訴訟などに関わった。元日弁連消費者委員長。

日本の司法・裁判所がおかしくなっています。アベ政権・自公政権が長期化し、日本の政治や行政が劣化の一途をたどる中、戦後日本の平和と民主主義や経済的な豊かさを支える基盤が政治の力によって次々と突き崩されています。それに対して多くの市民が異議を唱え、かつ裁判に訴えてでも食い止めようと努力をしていますが、当の司法・裁判所がこの市民の努力や願いにまともに応えようとしないのです。権力による過失や犯罪という巨悪を見逃し、社会正義を踏みにじり、罪なき被害者を切り捨て、基本的人権や国民主権や平和主義を定めた憲法判断から逃げ回り、結果的に法治国家の根幹を日本の司法・裁判所自らが掘り崩すという事態が生れています。先般の東電福島原発事故刑事裁判での幹部3人への無罪判決や、安保法制違憲訴訟あるいはTPP協定違憲訴訟などでの原告訴えの門前払い却下などはその一例です。今回は日本の司法にお詳しい澤藤統一郎弁護士においでいただき「日本の司法制度と裁判官」についてお話をいただきます。みなさまのご参加をお待ちしています（最初の1時間弱で主催者の方から東電福島原発事故刑事裁判の東京地裁判決についてコメントします）。

2月13日(木) 18時～21時(開場17時30分)

会場：スペースたんぽぽ 参加費（資料代含む）：800円（学生400円）

たんぽぽ舎のあるダイナミックビルの4階 JR水道橋駅西口から5分：水道橋西通りを神保町方面に向けて左折、グローバルスポーツビル、GS跡地（セブンイレブン）を過ぎて鉄建建設本社ビルを過ぎたら左折。

東京都千代田区神田三崎町2-6-2 tel 03-3238-9035 fax 03-3238-0797

Email: nonukes@tanpoposya.net URL: <http://www.tanpoposya.com/>

